

高齢者新型コロナウイルス予防接種についての説明書**1. 新型コロナウイルス予防接種について**

新型コロナウイルス予防接種は、個人の重症化予防を目的とするB類の定期接種で、接種に努力義務はなく、希望する人のみに行います。接種にあたっては、期待されるメリットと判明してきた副反応などのデメリットを理解したうえで、慎重に判断してください。

また、接種された方は、医療機関で接種済証を受け取り保管してください。

2. 接種するワクチンについて

今回接種するワクチンは、ファイザー社製のオミクロン株XFGを抗原株とするmRNAワクチンです。

1価（オミクロン株XFG）製剤を21日間隔で2回投与したマウスにおいて、最終投与の1か月後にオミクロン株（XFG）に対する中和抗体の産生が認められました。また、ワクチン既接種のマウスに1価（オミクロンXFG）製剤を1回投与した場合においても、最終投与の1か月後にオミクロン株（XFG）に対する中和抗体の産生が認められました。

（出典：令和8年8月コミナティ添付文書）

詳細はワクチンの添付文書をご確認ください。



販売名	コミナティ筋注シリンジ12歳以上用
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	1回（前回の接種から3か月以上が経過した後）
接種対象	12歳以上の方
接種量	1回0.3mLを筋肉内に接種
有効成分	SARS-CoV-2のスパイクタンパク質をコードするmRNA
添加物	・〔（4-ヒドロキシブチル）アザンジイル〕ビス（ヘキサン-6,1-ジイル）ビス（2-ヘキシルデカン酸エステル） ・2-〔（ポリエチレングリコール）-2000〕-N,N-ジテトラデシルアセトアミド ・1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ・コレステロール ・精製白糖 ・トロメタモール ・トロメタモール塩酸塩

●本ワクチンは、前回までの接種に用いたワクチンの種類にかかわらず接種が可能です。

●本ワクチンの接種を受けても、発症等を完全に予防できるわけではありません。

ワクチン接種にかかわらず、引き続き、適切な感染防止策を行う必要があります。

3. 予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

●明らかに発熱している人（※1）

●重い急性疾患にかかっている人

●本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人

●上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温に鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

4. 予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹等のアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

5. 接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

6. 副反応について（市の相談窓口や副反応の状況は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

- 主な副反応は、注射した部分の痛みや腫れ、疲労、頭痛、関節や筋肉の痛み、寒気、発熱、下痢等があります。また、稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。また、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎があらわれることがあるため、接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
- ごく稀ではあるものの、コロナウイルスRNAワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

7. 健康被害救済制度について（市独自の健康被害支援金は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

新型コロナワクチン関連情報

- 市の相談窓口、健康被害支援金などはこちら



- ワクチン接種による副反応の状況などはこちら



- 健康被害救済制度はこちら



高齢者新型コロナウイルス予防接種についての説明書**1. 新型コロナウイルス予防接種について**

新型コロナウイルス予防接種は、個人の重症化予防を目的とするB類の定期接種で、接種に努力義務はなく、希望する人のみに行います。接種にあたっては、期待されるメリットと判明してきた副反応などのデメリットを理解したうえで、慎重に判断してください。

また、接種された方は、医療機関で接種済証を受け取り保管してください。

2. 接種するワクチンについて

今回接種するワクチンは、モデルナ社製のオミクロン株XFGを抗原株とするmRNAワクチンです。

1価（オミクロン株XFG）製剤を21日間隔で2回投与したマウスにおいて、最終投与の2週間後にオミクロン株（XFG）に対する中和抗体の産生が認められました。また、ワクチン既接種のマウスに1価（オミクロン株XFG）製剤を1回投与した場合においても、最終投与の2週間後にオミクロン株（XFG）に対する中和抗体の産生が認められました。

（出典：令和8年8月エムネクスパイク添付文書）

詳細はワクチンの添付文書をご確認ください。



販売名	エムネクスパイク筋注シリンジ12歳以上用
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	1回（前回の接種から3か月以上が経過した後）
接種対象	12歳以上の方
接種量	1回0.2mLを筋肉内に接種
有効成分	SARS-CoV-2のスパイクタンパク質のN-末端部位及び受容体結合部位をコードするmRNA
添加物	・ヘプタデカン-9-イル 8-((2-ヒドロキシエチル)(6-オキソ-6-(ウンデシルオキシ)ヘキシル)アミノ)オクタン酸エステル（SM-102） ・コレステロール ・1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン（DSPC） ・1,2-ジミリスティル-rac-グリセロ-3-メチルポリオキシエチレン（PEG2000-DMG） ・トロメタモール ・トロメタモール塩酸塩 ・精製白糖

●本ワクチンは、前回までの接種に用いたワクチンの種類にかかわらず接種が可能です。

●本ワクチンの接種を受けても、発症等を完全に予防できるわけではありません。

ワクチン接種にかかわらず、引き続き、適切な感染防止策を行う必要があります。

3. 予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

●明らかに発熱している人（※1）

●重い急性疾患にかかっている人

●本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人

●上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温に鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

4. 予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
 - 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
 - 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
 - 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹等のアレルギーが疑われる症状がでた人
 - 過去にけいれんを起こしたことがある人
 - 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- 過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

5. 接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

6. 副反応について（市の相談窓口や副反応の状況は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

- 主な副反応は、注射した部分の痛み、疲労、頭痛、関節や筋肉の痛み、寒気、リンパ節の腫れ、悪心・嘔吐等があります。また、稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。また、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎があらわれることがあるため、接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
- ごく稀ではあるものの、コロナウイルスRNAワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

7. 健康被害救済制度について（市独自の健康被害支援金は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

新型コロナワクチン関連情報

- 市の相談窓口、健康被害支援金などはこちら



- ワクチン接種による副反応の状況などはこちら



- 健康被害救済制度はこちら



高齢者新型コロナウイルス予防接種についての説明書**1. 新型コロナウイルス予防接種について**

新型コロナウイルス予防接種は、個人の重症化予防を目的とするB類の定期接種で、接種に努力義務はなく、希望する人のみに行います。接種にあたっては、期待されるメリットと判明してきた副反応などのデメリットを理解したうえで、慎重に判断してください。

また、接種された方は、医療機関で接種済証を受け取り保管してください。

2. 接種するワクチンについて

今回接種するワクチンは、第一三共社製のオミクロン株NB.1.8.1を抗原株とするmRNAワクチンです。

1価（オミクロン株NB.1.8.1）製剤を2週間の間隔で2回投与したマウスにおいて、最終投与の2週間後にオミクロン株（NB.1.8.1）に対する中和抗体の産生が認められました。また、ワクチン既接種のマウスに1価（オミクロン株NB.1.8.1）製剤を1回投与した場合においても、最終投与の2週間後にオミクロン株（NB.1.8.1）に対する中和抗体の産生が認められました。

（出典：令和8年8月ダイチロナ添付文書）

詳細はワクチンの添付文書をご確認ください。



販売名	ダイチロナ筋注
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	1回（前回の接種から3か月以上が経過した後）
接種対象	12歳以上の方
接種量	1回0.6mLを筋肉内に接種
有効成分	SARS-CoV-2のスパイクタンパク質の受容体結合部位（RBD）をコードするmRNA
添加物	・（7R,9Z,26Z,29R）-18-（{ [3-（ジメチルアミノ）プロポキシ] カルボニル} オキシ）ペンタトリアコンタ-9,26-ジエン-7,29-ジイル=ジアセタート（T168-1857a） ・コレステロール ・1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン（DSPC） ・1,2-ジミリスチル-rac-グリセロ-3-メチルポリオキシエチレ（PEG2000-DMG） ・精製白糖 ・L-ヒスチジン ・pH調節剤

3. 予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温に鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

4. 予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
 - 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
 - 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
 - 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹等のアレルギーが疑われる症状がでた人
 - 過去にけいれんを起こしたことがある人
 - 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- 過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

5. 接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

6. 副反応について（市の相談窓口や副反応の状況は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

- 主な副反応は、注射した部分の痛みや熱感、倦怠感、頭痛、発熱等があります。また、稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。また、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎があらわれることがあるため、接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
- ごく稀ではあるものの、コロナウイルスRNAワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

7. 健康被害救済制度について（市独自の健康被害支援金は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

新型コロナワクチン関連情報

- 市の相談窓口、健康被害支援金などはこちら



- ワクチン接種による副反応の状況などはこちら



- 健康被害救済制度はこちら



高齢者新型コロナウイルス予防接種についての説明書**1. 新型コロナウイルス予防接種について**

新型コロナウイルス予防接種は、個人の重症化予防を目的とするB類の定期接種で、接種に努力義務はなく、希望する人のみに行います。接種にあたっては、期待されるメリットと判明してきた副反応などのデメリットを理解したうえで、慎重に判断してください。

また、接種された方は、医療機関で接種済証を受け取り保管してください。

2. 接種するワクチンについて

今回接種するワクチンは、武田社製のオミクロン株XFGを抗原株とする組換えタンパクワクチンです。

1価（オミクロン株XFG）製剤を14日間隔で2回投与したマウスにおいて、最終投与の2週間後にオミクロン株（XFG）に対する中和抗体の産生が認められました。また、ワクチン既接種のマウスに1価（オミクロン株XFG）製剤を1回投与した場合においても、最終投与の2週間後にオミクロン株（XFG）に対する中和抗体の産生が認められました。（出典：令和8年8月又バキソビッド添付文書）

詳細はワクチンの添付文書をご確認ください。



販売名	又バキソビッド筋注1ml
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	1回（前回の接種から6か月以上が経過した後）
接種対象	12歳以上の方
接種量	1回0.5mLを筋肉内に接種
有効成分	SARS-CoV-2 rS原薬
添加物	・ Matrix-A ^注 ・ Matrix-C ^注 ・ リン酸水素二ナトリウム七水和物 ・ リン酸二水素ナトリウム一水和物 ・ 塩化ナトリウム ・ ポリソルベート80 ・ pH調節剤 注）添加剤として、コレステロール、ホスファチジルコリン、リン酸水素二ナトリウム二水和物、リン酸二水素カリウム、塩化カリウム及び塩化ナトリウムを含む

- 本ワクチンは、前回までの接種に用いたワクチンの種類にかかわらず接種が可能です。
- 本ワクチンの接種を受けても、発症等を完全に予防できるわけではありません。
ワクチン接種にかかわらず、引き続き、適切な感染防止策を行う必要があります。

3. 予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
 - 重い急性疾患にかかっている人
 - 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
 - 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人
- （※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温に鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。
- （※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

4. 予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
 - 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
 - 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
 - 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹等のアレルギーが疑われる症状がでた人
 - 過去にけいれんを起こしたことがある人
 - 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- 過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

5. 接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

6. 副反応について（市の相談窓口や副反応の状況は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

- 主な副反応は、注射した部分の痛み、疲労、関節や筋肉の痛み、頭痛、倦怠感、悪心・嘔吐等があります。また、稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。また、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎があらわれることがあるため、接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

7. 健康被害救済制度について（市独自の健康被害支援金は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

新型コロナワクチン関連情報

- 市の相談窓口、健康被害支援金などはこちら



- ワクチン接種による副反応の状況などはこちら



- 健康被害救済制度はこちら



お問い合わせ：泉大津市立保健センター TEL0725(33)8181(平日 8:45～17:15)

高齢者新型コロナウイルス予防接種についての説明書

1. 新型コロナウイルス予防接種について

新型コロナウイルス予防接種は、個人の重症化予防を目的とするB類の定期接種で、接種に努力義務はなく、希望する人のみに行います。接種にあたっては、期待されるメリットと判明してきた副反応などのデメリットを理解したうえで、慎重に判断してください。

また、接種された方は、医療機関で接種済証を受け取り保管してください。

2. 接種するワクチンについて

今回接種するワクチンは、Meiji社製のオミクロン株NB.1.8.1を抗原株とするmRNAワクチン（レプリコンワクチン）です。

1価（オミクロン株NB.1.8.1）製剤を単回投与したマウスにおいて、投与の28日後にオミクロン株NB.1.8.1に対する中和抗体の産生が認められました。また、ワクチン既接種のマウスに1価（オミクロン株NB.1.8.1）製剤を1回追加投与した場合においても、追加投与の28日後にオミクロン株NB.1.8.1に対する中和抗体の産生が認められました。（出典：令和8年8月コスタイベ添付文書）

詳細はワクチンの添付文書をご確認ください。



販売名	コスタイベ筋注用
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	1回（前回の接種から3か月以上が経過した後）
接種対象	18歳以上の方
接種量	1回0.5mLを筋肉内に接種
有効成分	SARS-CoV-2のスパイクタンパク質をコードするmRNA
添加物	・ジ(ペンタデカン-8-イル)4,4 [({ [3-(ジメチルアミノ)プロピル) チオ} カルボニル] アザンジール] ジブチレート(ATX-126) ・1,2-ジルテアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン(DSPC) ・コレステロール ・1,2ジミリストイル-rac-グリセロ-3-メチルポリオキエチレン(PEG2000-DMG) ・トロメタモール ・塩化ナトリウム ・精製白糖 ・ソルビン酸カリウム ・ポリオキシエチレン(160)ポリオキシプロピレン(30)グリコール

●本ワクチンは、前回までの接種に用いたワクチンの種類にかかわらず接種が可能です。

●本ワクチンの接種を受けても、発症等を完全に予防できるわけではありません。

ワクチン接種にかかわらず、引き続き、適切な感染防止策を行う必要があります。

3. 予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

●明らかに発熱している人（※1）

●重い急性疾患にかかっている人

●本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人

●上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃以上を指します。ただし、37.5℃を下回る場合も平時の体温に鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

4. 予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
 - 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
 - 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
 - 過去に予防接種を受けて、接種後2日以内に発熱や全身性の発疹等のアレルギーが疑われる症状がでた人
 - 過去にけいれんを起こしたことがある人
 - 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- 過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことのある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

5. 接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は30分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。また、接種後に体調が悪い時は無理をせず、入浴は控える等、様子を見るようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、当日の激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

6. 副反応について（市の相談窓口や副反応の状況は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

- 主な副反応は、注射した部分の痛み、倦怠感、頭痛、寒気、関節や筋肉の痛み、発熱、めまい等があります。また、稀に起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。また、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談してください。
- ごく稀ではあるものの、ワクチン接種後に心筋炎や心膜炎があらわれることがあるため、接種後数日以内に胸の痛みや動悸、息切れ、むくみ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。
- ごく稀ではあるものの、コロナウイルスRNAワクチン接種後にギラン・バレー症候群が報告されています。接種後、手足の力が入りにくい、しびれ等の症状が現れたら、速やかに医療機関を受診してください。

7. 健康被害救済制度について（市独自の健康被害支援金は、下記「新型コロナワクチン関連情報」をご覧ください）

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めて稀ではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、接種を受けたときに住民票を登録していた市町村にご相談ください。

新型コロナワクチン関連情報

- 市の相談窓口、健康被害支援金などはこちら



- ワクチン接種による副反応の状況などはこちら



- 健康被害救済制度はこちら

